

地域連携だより

基本方針

1. 内科の二次救急病院として、24時間365日対応します。
2. 地域の医療機関、福祉施設と連携を取りながら、地域ネットワーク型の保健医療福祉システムをつくります。
3. 皆さまが住み慣れた地域で暮らしていくことを一般病棟および地域包括ケア病棟で支援します。
4. 十分な説明と理解を心がけ、思いやりのある安全で良質な医療を提供します
5. 職員が活き活きと働きがいのある職場づくりに努めます。
6. 健全な病院運営により地域医療へ貢献します。

平素より格別のご高配をいただき、誠にありがとうございます。

令和7年3月1日付けの外来診療担当医表をお送りします。

外来診察や入院のご相談、内視鏡検査のご依頼、各科医師への電話取次ぎ、何かご不明な点がございましたら、地域連携室までお問い合わせください。

【地域連携室 受付時間】

月～金曜日：午前8時30分～午後7時

土曜日：午前8時30分～午後5時

※ 日・祝・年末年始（12/30～1/3）を除きます。

清水地域の大規模防災訓練に参加しました

外来師長 荒木 春恵

2025年2月2日（日）午前8:00より4年に1度の清水地域・大規模防災訓練が開催され、参加しました。旭警察・旭消防・旭区役所・清水小学校 PTA 会・ボーイスカウト・牧病院など災害発生時に清水地域で重要な役割を担う人達が参加し、町会長・防災リーダーらによる指揮のもと訓練が行われました。

当日は南海トラフ地震発災を想定。訓練開始直後から対策本部集結・避難所開設・町会ごとの避難者誘導…を行い、簡易テントやトイレ・発電機の展示・炊き出し等、本格的な地域一体型の防災訓練でした。また当日は小雨の降る寒い朝でしたが「災害はいつ起きるか分からない」を踏まえ、開催されました。災害発生時をリアルに体感して欲しいとのことでしたが、避難所である小学校の講堂は極寒そのものでした。

小学生から高齢者まで男女問わず100名前後の一般住民の方々が参加。当院は「災害時における救急応急処置」のレクチャーを担当。「被災時は避難所へ、軽症程度の場合は慌てず各自で処置できるように」をテーマに「切り傷の手当・止血方法・骨折や捻挫の手当」について、避難所や各家庭に常備されているビニール袋やラップでできる応急処置を体験してもらえ訓練にしました。町会長を筆頭に皆さん本当に熱心で積極的に参加されており、清水地域の人々の防災意識の高さに驚きました。今回の防災訓練に地域の病院として参加することで、清水地域と牧病院の防災時の連携を考える良い機会となりました。



備蓄品として
三角巾・ガーゼを寄贈しました